

公開部門委員会
衝撃工学への多様なアプローチ

企画 衝撃部門委員会

会場 電気通信大学

日時 2020年5月29日(金) 13:30~17:00

趣旨 材料・構造の変形、破壊現象は車の衝突や地震、津波による動的破壊といった問題から、逆にこれを積極的に利用する破碎や加工の問題まで広い分野でしばしば見られる。こうした現象は材料自身の動的性質と材料中を伝播する応力波などの力学的問題が絡み合い一般に複雑である。衝撃部門委員会では、関連の諸分野の研究者・技術者が集まり、材料の物性面からのみならず、解析方法、装置・実験法、計測法など、いろいろな視点から議論し検討している。今回の公開部門委員会では、「衝撃工学への多様なアプローチ」をテーマに、特に爆薬等を用いた各種の応用技術に関する講演を中心に、爆発威力の抑制法、岩盤や鉄筋コンクリート構造物の破碎など、多様なアプローチによる研究や実用成果などを講演していただく。多くの方々にご参加いただけることを期待している。

プログラム

1. 13:30~14:15 運営会議

2. 14:30~17:00 講演会

(1) 爆発威力の抑制を目指した水緩衝材の性能評価

産業技術総合研究所 安全科学研究部門

丹波 高裕 氏

(2) 発破のための岩盤評価法と画像相関法(DIC)を用いた動的歪み計測

産業総合技術研究所 安全科学研究部門

高橋 良堯 氏

(3) 鹿島マイクロブラスティング工法・瞬間破碎型杭頭処理工法の開発と現場施工事例の紹介

鹿島建設技術研究所

中村 隆寛 氏

~~~~~